



JPI催しのご案内

2024 5

公益社団法人日本包装技術協会

— 2024年度の本催しについて —

2024年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日時 ①令和6年5月9日(木) 15:00~17:00/②令和6年5月13日(月) 15:00~17:00/③令和6年5月15日(水) 13:00~15:00

参加費 JPI法人・個人会員：無料/一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名

①令和6年5月9日(木) 15:00~17:00

JPI本部主催

【テーマ】 フローズンチルド食品包装設計の基礎と物流2024年問題

物流2024年問題に対する解決策の一つとして「積載効率を上げる」、「配送頻度を減らす」といった対応が考えられます。しかし食品、特にそうざい類の場合は、消費期限の問題で高頻度配送が必要、常温・冷蔵・冷凍といった複数の温度管理が必要、製品形状を崩さないといけない荷扱いが必要などの理由で、物流・包装側の工夫だけでは改善できないのが現状ではないでしょうか。またCVSチルド食品の冷凍食品化の試みもなされていますが、消費者のチルド食品信仰もありなかなかうまく進みません。

今回の講演では、物流2024年問題解決のヒントとして、フローズンチルド食品包装設計の基礎を紹介します。フローズンチルド食品は、製造～流通を冷凍温度帯、小売をチルド温度帯で流通させる食品です。物流段階では冷凍状態のため、賞味期限が長く、衝撃にも比較的強くことから、積載効率を上げ、配送頻度を減らすことが可能です。また小売り段階ではチルド状態であり、消費者イメージへの影響もありません。

講演では、講演者が開発したパウチ入りビーフシチューの事例を取り上げ、フローズンチルド食品におけるパウチ・カルトン・タックラベル・段ボール箱設計時の留意点を中心に紹介します。

【講師】 東洋食品工業短期大学 包装食品工学科 准教授

宮尾 宗央氏

②令和6年5月13日(月) 15:00~17:00

JPI本部主催

【テーマ】 SDGsをテーマとした食のバリューチェーン戦略

21世紀、食品産業は高度化・多様化・法制化・国際化の波に揺られている。2015年9月の「国連サミット」で150を超える加盟国参加のもと、全会一致で採択されたSDGsは「持続可能な開発のための2030アジェンダ行動計画」に掲げられた「持続可能な開発目標」を言い、SDGs「Sustainable Development Goals」と表現される。本稿においては、フードサプライチェーンを「バリューチェーンに変革するための戦略」について要点を述べる。

【講師】 田中技術士事務所 代表

田中 好雄氏

③令和6年5月15日(水) 13:00~15:00

JPI本部主催

【テーマ】 サークュラーエコノミー時代に向けた包装設計の在り方とは

私達の生活を豊かにしてきたパッケージのあり方は大きな転換期を迎えており、世界各国の政府そして企業が「サーキュラーエコノミー」の考え方に基づいた法整備や取組みを展開しています。

本講演では、昨今の環境問題に対する国内外のパッケージ最新動向に加え、当社が提供する情報配信サービス「ニュースのミカタ」より、この1年における注目のニュースをピックアップ、独自の視点から解説することでサーキュラーエコノミー時代に向けたこれからの包装設計の在り方をご提案します。

【講師】 株式会社パックエール 代表取締役社長

内村 元一氏

申込要領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までにお願いします。

個人情報の取り扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
- ・お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できませんのでご注意ください。
- ・招待メールにて参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・※ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意ください。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤

TEL.03-3543-1189

FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。

URL <https://www.jpi.or.jp/>

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2024

TOKYO PACK 2024

OCT.23~25, 2024 TOKYO BIG SIGHT



本展ホームページ
2次元コード

間もなく募集定数に達します。
出展をご検討の方はお早目に！

包装の最新情報が一堂に集まる国際包装展

2024東京国際包装展

2024.10.23(水)~25(金)

東京ビッグサイト 東ホール

開場時間 10:00~17:00 主催 公益社団法人日本包装技術協会
JAPAN PACKAGING INSTITUTE
<https://www.tokyo-pack.jp>

世界が驚く包装イノベーションを！

~TOKYO PACKから世界へ~

TOKYO PACK Inspires the Packaging World
~A Gateway to Innovation~

出展募集締切▶2024年5月10日(金) ※定数に達し次第、締切となります。

日本MH協会からのお知らせ

令和6年度 第1回 MHフォーラム

主催：日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会
日時：令和6年5月23日(木) 14:00-16:30

講演①：「設備メンテナンスの根本課題と、課題解決のためのDXの要諦」

株式会社M2X 代表取締役 岡部 晋太郎 氏

【講演概要】 設備メンテナンスはIoTやAIといった先端技術を用いた手法が提案されているにも関わらず、現実には事後保全中心のメンテナンスとなっているのが現実です。なぜその状況から抜け出せないのか、その状況をどのような取組を通じて変革できるのかを、長年大手製造業向けのDXに携わってきた経験と設備メンテナンスDXソリューションを提供している経験を踏まえ解説します。

講演②：「日本の優良企業に学ぼう！2024年問題とその先10年の物流倉庫運用」

Exotec Nihon株式会社 アジアパシフィック地域 取締役社長 立脇 竜 氏

【講演概要】 2024年問題は、トラックドライバーや運送会社だけでは解決できない、モノを扱う業界全体で考えなければならない複合的な社会課題です。Exotec®の倉庫自動化ソリューションSkypod®システムは、労働力不足解消・倉庫の効率化・サプライチェーンの全体最適化という観点から、この課題に一石を投じます。しかし、解決すべきは2024年問題だけでしょうか。本セミナーでは、目先の課題解決に留まらず「今後10年のビジネスを拡大するための持続可能なビジネス戦略」としてSkypodシステムを導入した優良企業様のモデルケースをご紹介します。

会場：公益社団法人日本包装技術協会内（東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F）

定員：50名（定数に達し次第、締切りとさせていただきます。）

参加費：会員＝ 5,500円（税込）※会員＝日本MH協会、日本包装技術協会の法人・個人会員が対象です。
一般＝ 11,000円（税込）

【個人情報について】当協会では個人情報の保護に努めております。詳しくは当協会HP「個人情報保護方針」をご覧ください。

日本MH協会 太田 行 FAX：03-3543-8970（TEL：03-3543-9335）

令和6年度第1回 MHフォーラム 参加申込書

ご芳名 /ご所属 ・ご役職	1. / 2. /
貴社名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL： FAX： E-mail： @

日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会